I·O DATA

USB-RSAQ2 セットアップガイド

145989-01

本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付の「サポートソフト」内にあるオンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアル起動方法

■Windowsの場合
①サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。
②[オンラインマニュアルを読む]ボタンをクリックします。

■Macの場合
①サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。
②[manual]→[index.html]を順にダブルクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。
本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 インストールする

●ここでは、ご使用のOSに本製品のドライバソフトをインストールします。

ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。
下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。本製品の挿入は、下記の作業の後に行います。

Windowsの場合

注意 インストール時に使用するUSBポートに関してパソコンにUSBポートが複数ある場合は、本製品を使用するUSBポートを1個所のみに決めてインストールすることをおすすめします。
※USBポートを変えた場合、つけかえたUSBポートでも新たにインストールが必要となります。

❶パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
※デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。

注意 **Windows XP/2000の場合**
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

❷「サポートソフト」ディスクをCD-ROMドライブにセットします。

❸以下の画面が表示されます。「USB-RSAQ2デバイスドライバ」をクリックします。

この画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→CD-ROMドライブ→[AUTORUN]の順にダブルクリックすれば表示されます。



❹後は、[OK]ボタンを順にクリックします。



❺以下の画面が表示されましたら、CD-ROMを取り出して、[はい]ボタンをクリックします。



Mac OSの場合

●本製品は複数同時に使用することはできません。

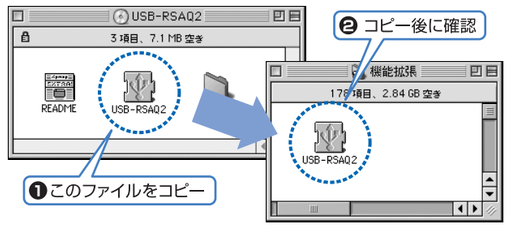
❶パソコンの電源を入れ、Macintoshを起動します。

❷「サポートソフト」ディスクをCD-ROMドライブにセットします。

❸CD-ROMアイコンをダブルクリックして開きます。



❹[USB-RSAQ2]ファイルを[機能拡張]フォルダにコピーします。
[機能拡張]フォルダは、Mac OSをインストールしたドライブの[システムフォルダ]の中にあります。

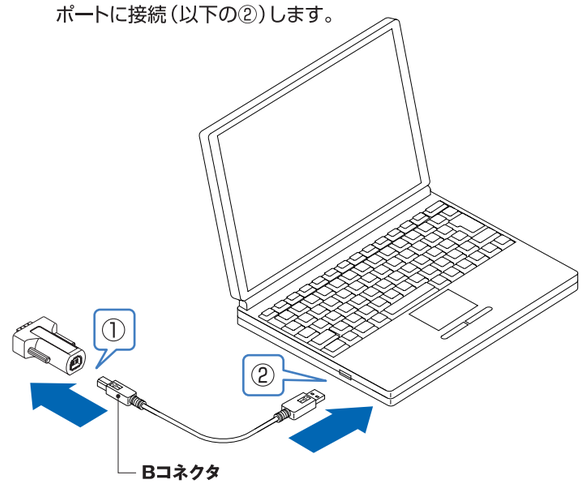


以上で、インストール作業
(ドライバのインストール)は終了です。
【②パソコンに接続する】へお進みください。

2 パソコンに接続する

●本製品をパソコンに接続します。

デスクトップ画面が表示されていることを確認し、本製品に添付のUSBケーブルを接続後(以下の①)、パソコンのUSBポートに接続(以下の②)します。



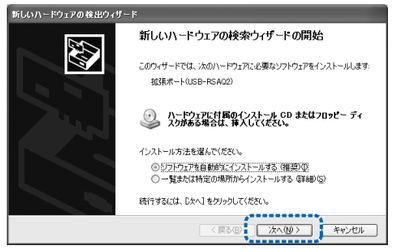
Windows XPの場合
追加作業が必要です。
以下の【Windows XPでの追加作業】を行ってください。

Windows XP以外のOSの場合
以上で、取り付けは終了です。
裏面の【3 接続後の確認】へお進みください。

注意 本製品の接続時に「必要なソフトウェアが見つかりません」または「必要なドライバが使用できません」と表示された場合は…
→オンラインマニュアルの【困ったときには】をご覧ください。

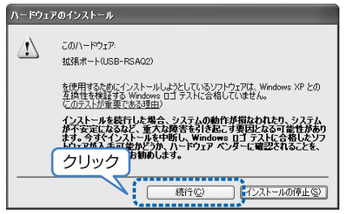
Windows XPでの追加作業

❶USBポートに接続後、以下の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



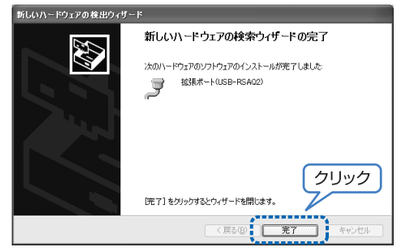
注意 本製品を取り付けるUSBポートを変えて挿入した場合においても、左の画面が表示されますので、同様の手順でインストールを行ってください。
一度取り付けて正常にインストールが終了したUSBポートに、再度取り付けても上記画面は表示されません。ただし、インストールが終了していない状態で上の画面が表示されない場合は以下の原因が考えられます。
原因:本製品がUSBポートに正しく取り付けられていない
→確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
→取り付けるUSBポートを変更してお試しください。
→オンラインマニュアル[困ったときには]もご覧ください。

❷以下の画面が表示されますが、[続行]ボタンをクリックします。



注意 弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。このたびお買い上げ頂いた製品は認定を受けておりません。

❸[完了]ボタンをクリックします。



以上で、取り付けは終了です。
裏面の【3 接続後の確認】へお進みください。

裏へ続く

3 接続後の確認

●ここでは本製品が正しく接続されていることの確認を行います。

Windowsの場合

❶ [マイコンピュータ]を右クリック※し、表示された[プロパティ]をクリックします。

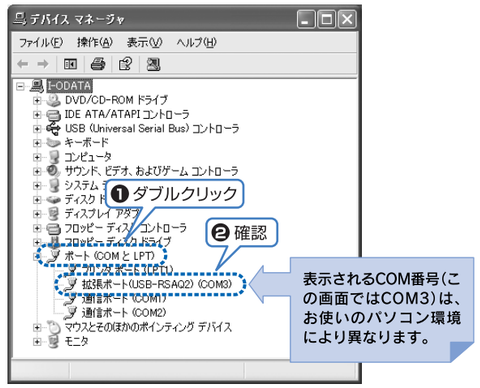
※Windows XPの場合は[スタート]をクリック後、[マイコンピュータ]を右クリック

❷ [ハードウェア]タブをクリック後、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。(Windows XP/2000の場合のみ)

※Windows Me/98の場合は、この手順はありません。
そのまま❸へお進みください。

❸ [デバイスマネージャ]画面([デバイスマネージャ]タブ)で[ポート(COMとLPT)]をダブルクリックし、以下が表示されているかを確認します。

拡張ポート(USB-RSAQ2)(COMx)]※
※COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。



❹ 確認後、画面を閉じます。

本製品にモデムやTAを接続し、モデムやTAのプロパティでCOMポートの選択を[拡張ポート(USB-RSAQ2)]にして、高速なシリアルポートをご活用ください。

[拡張ポート(USB-RSAQ2)(COMx)]が表示されていない場合
→オンラインマニュアル[困ったときには]を参照してください。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

注意

●本製品のCOM番号は、お使いのパソコンで現在未使用のCOM3以降の番号に、小さい順に自動的に割り当てられます。
(COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。)
COM番号を変更する場合は、オンラインマニュアル[COMポート番号の変更手順]をご覧ください。

●[デバイスマネージャ]画面で、[拡張ポート(USB-RSAQ2)(COMx)]をダブルクリックすると、より詳しい設定を行うことができます。
ここでは、本製品に接続したモデムやTA等の設定が優先されますので、モデムやTA等の設定をご確認ください。

●本製品に接続するPnP機器(モデム等)は自動検出されない場合があります。
その場合、手動にてモデムやTAのシリアル機器をインストールしてください。([④シリアル機器を接続する]参照)

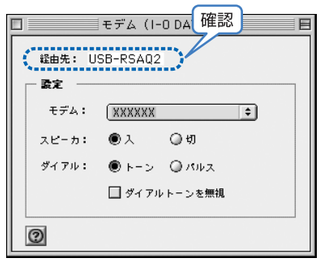
Mac OSの場合

●ここでは本製品がMacintoshで正常に接続されていることを確認します。

❶ [Apple]メニュー→[コントロールパネル]→[モデム]をクリックします。

❷ [経由先]に[USB-RSAQ2]※と表示されていることを確認してください。

※お使いのMacintosh環境によっては[Modem Port USB]と表示される場合があります。



これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

4 シリアル機器を接続する

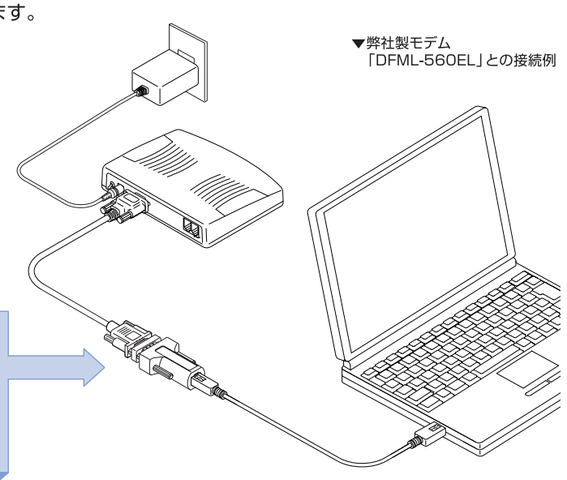
●ここまでで本製品がパソコンに正しく接続できていることを確認できましたら、本製品でお使いになりたいモデムやTAなどのシリアル機器を本製品を接続します。

❶ WindowsやMac OSを終了し、一度パソコンの電源を切り、本製品を一度取り外します。

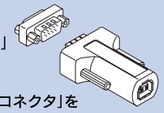
❷ モデムやTAを本製品に接続後、モデムやTAの電源を入れ、パソコンの電源を入れます。

❸ WindowsやMac OSが起動された後、本製品をUSBポートに接続します。

▼弊社製モデム
「DFML-560EL」との接続例



モデムやTAなどのシリアル機器のRS-232C(D-Sub9ピンオス)コネクタへ接続します。
●シリアル機器のコネクタの形状が9Pinメスの場合は、添付の「凸-凸ジェンダーチェンジャー」をご使用ください。
●シリアル機器のコネクタの形状がMac対応用(ミニDin8Pin)の場合は、添付の「Mac用変換コネクタ」をご使用ください。



接続します。
以上で本製品とモデムやTAの接続は終了です。

参考 モデムやTAを本製品に接続して使用するには、モデムやTAなどのシリアル機器をインストールする必要があります。
Windowsでのシリアル機器のインストール例については、オンラインマニュアル[シリアル機器のインストール例]を参照してください。

使用上のご注意 ●サポートソフトCD-ROM内の「README.TXT」もお読みください。

●本製品は、COMポートに直接アクセスするタイプのアプリケーションでは使用できません。(MS-DOSアプリケーションや16ビットアプリケーション等)

●シリアル接続のPnP機器(モデムやTA等)は自動検出されません。
PnP機器のインストールについては、お使いのPnP機器の取扱説明書を参照の上、手動で行ってください。
また、モデムやTAに添付されている専用ユーティリティは使用できない場合があります。

●パソコンにOSをインストールする際は、本製品を取り外した状態で行ってください。

●パソコン本体のRS-232Cポートには接続できません。
※本製品はパソコン本体のUSBポートにのみ接続して使用できます。
また、周辺機器とは本製品のRS-232Cポートとのみ接続できます。
(本製品を周辺機器のUSBポートに接続して使用することはできません。)

●Macintoshでご使用の場合、RS-232Cで接続する周辺機器(デジカメやプリンタなど)においてデータ転送用アプリケーションソフト側で拡張RS-232C接続に対応していない場合があります。その場合はご使用いただけませんのでご注意ください。

●RS-232C側に接続する機器がD-sub25ピンの場合、別途市販の変換コネクタをお買い求めください。

●本製品をUSBハブに接続する場合は、USBハブ自体に電源を供給することをおすすめします。
(USBハブをセルフパワーで使用)

●スタンバイ、サスペンド、休止状態、スリープなどには対応しておりません。

●Macintoshでご使用の場合、本製品を複数個同時に使用することはできません。
(Windowsでは同時に4本まで使用可)

●シリアルポートから電源供給を必要とするRS-232Cで接続する周辺機器への接続はできません。

●本製品の9ピンコネクタは、全結線されたストレートタイプです。
接続するシリアル機器によっては、シリアル機器に同梱されたシリアルケーブルや専用ケーブルを併用しないと正しく動作しない場合があります。

もっと近くへ── More Communication
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ: http://www.iodata.jp/support/

2003.10.20
©2003 I-O DATA DEVICE,INC. Allrights reserved.